

# 南会津町デジタル田園都市国家構想総合戦略～第3期南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略～【概要版】

## 総合戦略の基本的な考え方

### 1 策定の背景

本町では、平成28年3月に「まち・ひと・しごと創生法」(平成26年法律第136号)に基づき、人口の現状と将来の姿を位置づけた「南会津町人口ビジョン」と、人口の確保及び人口減少の抑制に向けた基本目標や施策の基本的方向等を定めた「南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年度には次期計画となる「第2期南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に改め、持続可能な社会の実現に向けた取組を進めてきました。

令和6年度に第2期戦略が最終年度を迎えることから、「南会津町人口ビジョン」における人口の将来展望を見直すとともに、国が策定する「デジタル田園都市国家構想総合戦略」や県が策定する「ふくしま創生総合戦略」を勘案し、本町の地域資源やデジタル技術を活用しながら、人口減少対策や町の更なる発展を目指し、令和7年度を初年度とする「南会津町デジタル田園都市国家構想総合戦略～第3期南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略～」を策定します。

### 2 総合戦略の期間

令和7(2025)年度から令和12(2030)年度までの6年間

### 3 基本目標及び横断的取組の視点

#### (1) 基本目標

総合戦略の基本方針の実現に向けて、次の4つの基本目標を掲げ、具体的な施策を展開していきます。

基本目標① 新しいひとの流れをつくる

基本目標② 子どもを産み育てたいと思える環境をつくる

基本目標③ 特性をいかしたしごとで稼ぐ地域をつくる

基本目標④ 魅力と活力あふれる安全安心なまちをつくる

#### (2) 横断的取組の視点

基本目標に基づきながら、それらを横断する形で以下の視点のもとに施策を推進します。

#### 視点① 多様な人材の活躍を推進する

地方創生の基盤を成す多様な人材に焦点を当て、その活躍を推進します。一人ひとりが地域の担い手として活躍できる環境づくりを進め、活力あふれる地域をつくるため、若者、高齢者、女性、障がい者、外国人など、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会を目指します。

#### 視点② デジタルの普及に伴う新たな時代の流れを力にする

Society5.0の実現に向けた技術(以下、未来技術)は、人手不足の解消、地理的・時間的制約の克服が可能で、住民の生活の利便性と満足度、地域の魅力の向上につながる事が期待され、本町においても多様な場面で導入を検討し、施策を推進するとともに、テレワーク等の新型コロナウイルスの影響による社会情勢の変化にも対応した取組を行います。

また、2015年9月の国連サミットで示された持続可能な開発目標SDGsを見据え、その達成のための取組との連動を図るものとします。

## 基本目標・数値目標、施策の基本的方向と具体的な施策

基本目標・数値目標	施策の基本的方向	具体的な施策
<b>基本目標①</b> <b>新しいひとの流れをつくる</b> 今後、本町を訪れる人(交流人口)だけでなく、何らかの形で本町に関わる人(関係人口)の創出を図り、そこから移住・定住につなげる取組を推進します。 併せてデジタルを活用しながら、時代に沿った町の魅力発信もを行い、交流人口と関係人口の創出を図ります。 <b>数値目標: 転出超過(7年間)</b> <b>現状(H29-R5) 1,060人</b> ⇒ <b>目標(R6-R12) 900人</b>	<b>郷土意識を醸成し、若者流出の抑制と将来的な地元回帰の促進</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 将来南会津町に住みたいと思う中学生の割合 44.4% 50.0% 地元就職する(将来したいと思う)高校生の割合 24.6% 40.0% 若者が集まる機会があると思う高校生の割合 24.6% 40.0% 若者からの意見を具現化できた事業数 - 6件 <b>『知る』機会、『関わる』機会の創出</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 都市交流人口 77,034人 85,000人 <b>移住定住促進のための条件整備と情報発信の充実強化</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 移住相談総合窓口を通じた移住者数 ※7年間 28世帯(H29-R5) 30世帯(R6-R12) 空き家バンク成約件数 ※R3からの累計 32件 50件 ホームページアクセス数 750,441件 1,000,000件	①郷土愛を軸としたキャリア教育の推進 ②若者の思いをカタチにできるまちづくりの推進 ①南会津の暮らしを体験する機会の創出 ②関係人口の創出 ①移住支援の強化 ②空き家の活用と移住定住に係るサポートの充実 ③情報発信の充実強化
<b>基本目標②</b> <b>子どもを産み育てたいと思える環境をつくる</b> 子どもや子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しており、子育て支援のニーズも多様化しています。本町で安心して結婚・出産・子育てができるよう、結婚から子育てまで切れ目のない支援を行うとともに、多様化するニーズに応じた子育て支援の充実を図るなど、町全体で子育てを応援する「南会津子育てモデル」を構築し、子どもを産み育てやすい環境づくりに努めます。 <b>数値目標: 出生数</b> <b>現状(R5) 49人/年</b> ⇒ <b>目標(R12) 40人/年</b>	<b>希望をもって結婚・出産できる環境の整備</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 婚姻件数 19件 30件 結婚支援イベント参加者数 ※R3からの累計 48人 400人 <b>子育て支援の充実</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 保育所・幼稚園利用率 87.6% 90.0% 子育て支援センター延べ利用人数 2,617人 3,600人 <b>特性をいかした魅力的な教育環境の整備</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 学校に行くのが楽しい小・中学生の割合 小学生91.3% 小学生93.0% 中学生79.9% 中学生83.0% 地元中学校卒業者の南会津高校進学率 33.6% 36.0%	①地域全体で結婚を応援する環境の整備 ②安心して出産できる環境の整備 ①子育て世帯の負担と不安の軽減を図る ②子育て世帯の多様なニーズへの対応 ①小中高英語教育の充実 ②ICT教育の推進 ③高校の魅力化と地域を支える人材の育成
<b>基本目標③</b> <b>特性をいかしたしごとで稼ぐ地域をつくる</b> 地域産業のブランド力と競争力の強化、本町ならではのモデルの確立など、町の財産(強み)を増やし、稼ぐ地域を目指すとともに、地域産業を支える人材の育成・確保に努めます。 <b>数値目標: 給与所得・営業所得・農業所得者数</b> <b>現状(R5) 5,220人</b> ⇒ <b>数値目標(R12) 4,820人</b>	<b>地域産業のブランド力や競争力の強化</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 町内企業製品出荷額 208億円(R3年) 261億円 農業収入平均額 3,700千円 3,900千円 新規就農者数 ※R3からの累計 8人 23人 新規就業者数(林産業) ※R3からの累計 9人 23人 観光客入込数 689,376人 800,000人 <b>創業・事業承継への支援と企業誘致の推進</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 創業・事業承継件数 ※R3からの累計 7件 18件 企業誘致件数 ※R3からの累計 0件 2件	①中小企業の生産性の向上と産業競争力の強化育成 ②基盤産業である農業の振興と新規就農者の確保 ③豊富な地域資源を活用した林業・木材産業の活性化 ④地域特性をいかした観光業の振興 ①創業・事業承継への支援 ②雇用の創出・事業の継続 ③強固な地盤と良好な交通アクセスをいかした企業誘致の推進
<b>基本目標④</b> <b>魅力と活力あふれる安全安心なまちをつくる</b> 「今」住んでいる町民が、住んでいて良かったと思える町をつくる事が大事であることから、もう一度足元を見つめ直し、地域や集落の魅力や課題を理解し、それぞれの地域や集落の特性をいかしたまちづくりを進めるとともに、だれもが安心して暮らせるまちづくりに努めます。 <b>数値目標: 南会津町に住み続けたいと思う町民の割合</b> <b>現状(R6) 49.9%</b> ⇒ <b>目標(R12) 60.0%</b>	<b>地域の特性をいかした魅力のあるまちづくりの推進</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 人材育成支援事業参加者数 ※R2からの累計 331人 450人 ステーションプラザ利用者数 34,736人 36,800人 <b>安心して暮らせるまちづくりの推進</b> 重要業績評価指標(KPI) 現状(R5) 目標(R12) 高齢者見守り訪問回数 4,441回 4,500回 デマンドタクシー利用者数 16,585人 17,000人 マイナンバーカードの普及率 79.0% 100% 南会津病院の常勤医師による診察可能科目数 4科目 6科目	①地域づくりを支える人材の育成 ②ビジョンや計画に基づく事業実施支援 ③これから求められる中心市街地づくり ①住民主体の地域支え合い活動の推進 ②地域コミュニティや集落機能の維持 ③除雪支援の充実 ④利用しやすい交通網の整備 ⑤住民サービスのデジタル化 ⑥医療体制の対策